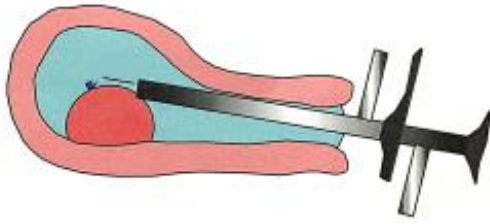


子宮鏡手術を受けられる方へ

子宮鏡下手術とは

子宮鏡下手術とは、子宮の中にウロマチックという液体を注入して、子宮内部を膨らませ、子宮内部に存在する子宮内膜ポリープや粘膜下子宮筋腫を摘出する方法です。



子宮鏡下手術のメリットとデメリット（腹腔鏡下手術、開腹手術と比較して）

メリット

1. お腹に傷ができない。
2. 術後の痛みが軽い。
3. 入院期間が短い。（早く退院ができる）

しかし、子宮内の状態や手術の難易度により以下の留意点があります。

1. 子宮に穴が開いたり、出血が止まらない場合は、腹腔鏡下手術や開腹手術となる可能性がある。
2. 子宮筋腫の大きさや突出率（どれほど子宮内腔に飛び出した腫瘍であるか）によっては、数回に分けた手術となったり、全てを取り切れない可能性がある。
3. 水中毒（ウロマチックという液体を過剰に使用すると、血液中の電解質のバランスを崩し、吐き気や意識障害を起こすこと）のリスクがある。

子宮鏡下手術の適応となる病気は？

- ・子宮筋腫（粘膜下筋腫）
- ・子宮内膜ポリープ
- ・子宮奇形など

子宮鏡下手術以外の治療方法

1. 子宮内膜ポリープ：経過観察、腔式子宮内膜ポリープ摘出術、ホルモン剤
2. 子宮筋腫：経過観察、腹腔鏡下手術、開腹手術、ホルモン剤、子宮動脈塞栓術（UAE）など

術前治療

- ・手術の1～3ヶ月前から、月経を止めるホルモン剤（GnRH アゴニスト、ジェノゲスト）を使用します。
- ・手術1日前の入院時に、子宮頸管を広げやすくする器具（子宮頸管を軟化する製剤）を子宮内に挿入します。

入院期間、費用

原則として入院期間は2泊3日（手術前日入院、術後翌日退院）です。ただし、病室の状況や手術後の状況により前々日入院となったり、退院が延期することがあります。

入院と手術は全て健康保険が適用されます。（個室利用料は除きます）手術の方法により費用は異なりますが、およそ25～40万円で、保険本人はその3割の自己負担となります。

（高額療養費に関しては、各自確認をお願いします）

入院後のスケジュール

入院

手術

術後1日目

--	--	--

問診、シャワー、
夕食後子宮を広げる処置

朝：点滴
麻酔：全身麻酔

朝：採血
膀胱カテーテル抜去
食事開始、歩行開始 退院

手術後の注意点は？

- ・手術後約1ヶ月間は入浴をさけて、シャワー浴としてください。
- ・数週間出血が続くことがあります。出血が多い場合には受診してください。

子宮鏡下手術の治療方針を相談します。

分からないことがあれば担当医にご遠慮なくお尋ねください。